

(令和6年度 学校推薦型選抜用)

入 構 許 可 申 請 書

令和 5 年 11 月 日

岩 手 大 学 長 殿

(申請者)
学生証番号 _____

_____ 学部 _____ 学科・課程 _____ 年次

_____ 研究科 _____ 専攻 _____ 年次

氏名 _____

下記の理由により、学校推薦型選抜当日に入構等したいので、許可願います。

記

入館場所 (例：〇〇学部〇号館〇〇研究室)

理由 (詳細に記入してください。)

上記の者について、入学試験に影響を与えないよう指導しますので、入構等を許可願います。

指導教員等 _____ 印

コース長・専攻長・プログラム長，入試委員 _____ 印

○入構規制

- 令和5年11月21日(火)は、**原則として入構等を禁止**します。
- 特別な理由により、入構等しなければならない者は、「入構許可申請書」に入構等理由等を記入し、**11月10日(金)17時まで**に、裏面記載のとおり、所属先の許可を得たうえで、各担当窓口
に申請し、リボンを受け取ってください。
なお、入構等中は必ずリボンを着用してください。

※ コース長・専攻長・プログラム長(理工学部・理工学研究科・総合科学研究科の一部)と、入試委員(農学部)は裏面に掲載しています。

※ 申請受付期限を過ぎたものは、いかなる理由があっても受理しません。

※ リボンの再交付はしません。

※ **リボンは、11月24日(金)までに学生センターA棟窓口へ必ず返却すること。**

リボンの返却

年 月 日

<学部>

- ・人文社会科学部 指導教員等の署名・押印 → 学生センターA棟③窓口に申請
- ・教育学部 原則として入構禁止
- ・理工学部 指導教員等及びコース長の署名・押印 → 学生センターA棟④窓口に申請
- ・農学部 指導教員等及び入試委員の署名・押印 → 学生センターA棟④窓口に申請

<大学院総合科学研究科>

- ・総合文化学専攻 指導教員等の署名・押印 → 学生センターA棟③窓口に申請
- ・地域創生専攻 指導教員等の署名・押印 → 学生センターA棟⑤窓口に申請
(ただし、金型・鋳造プログラムと社会基盤・環境工学プログラムは指導教員等とプログラム長の署名・押印)
- ・理工学専攻 指導教員及びコース長の署名・押印 → 学生センターA棟④窓口に申請
- ・農学専攻 指導教員等の署名・押印 → 学生センターA棟④窓口に申請

<大学院教育学研究科>

- ・教職実践専攻 原則として入構禁止

<大学院理工学研究科>

指導教員等及び専攻長の署名・押印 → 学生センターA棟④窓口に申請

理工学部 コース長

化学・生命理工学科 (化学コース)	是永 敏伸
〃 (生命コース)	富田 浩史
物理・材料理工学科 (数理・物理コース)	石垣 剛
〃 (マテリアルコース)	内藤 智之
システム創成工学科 (電気電子通信コース)	高木 浩一
〃 (知能・メディア情報コース)	永田 仁史
〃 (機械科学コース)	内館 道正
〃 (社会基盤・環境コース)	大西 弘志

理工学研究科 専攻長

自然・応用科学専攻	是永 敏伸
システム創成工学専攻	永田 仁史
デザイン・メディア工学専攻	今野 晃市

総合科学研究科 プログラム長・コース長

(地域創生専攻)	
金型・鋳造プログラム長	西村 文仁
社会基盤・環境工学プログラム長	大西 弘志
(理工学専攻)	
物質化学コース	是永 敏伸
生命科学コース	富田 浩史
数理・物理コース	宮島 信也
材料科学コース	吉本 則之
電気電子通信コース	高木 浩一
機械・航空宇宙コース	花原 和之
知能情報コース	永田 仁史
デザイン・メディア工学コース	今野 晃市

農学部 入試委員

植物生命科学科	畠山 勝徳	
応用生物化学科	宮崎 雅雄	
森林科学科	東 淳樹	
食料生産環境学科	〔農村地域デザイン学コース〕 〔食産業システム学コース〕	前田 武己
〃 (水産システム学コース)		袁 春紅
動物科学科	西向めぐみ	
共同獣医学科	大沼 俊名	森田 智也